

オランザピン錠 2.5mg/5mg/10mg/20mg 「EE」

効能・効果追加承認取得のご案内

2018年4月吉日

エルメッド エーザイ株式会社

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より弊社製品につきましては、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび弊社のオランザピン錠 2.5mg/5mg/10mg/20mg 「EE」は、平成30年4月4日付けで、効能・効果追加に係る医薬品製造販売承認事項の一部変更の承認を取得しましたので、ご案内申し上げます。

これにより、本剤の効能・効果は先発医薬品と同一となりました。

今後とも変わらぬご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

効能・効果追加後の【効能・効果】、【用法・用量】は以下となります。

_____下線が追加された効能・効果および用法・用量

【効能・効果】

統合失調症

双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善

抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）

【用法・用量】

統合失調症：通常、成人にはオランザピンとして5～10mgを1日1回経口投与により開始する。維持量として1日1回10mg経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日量は20mgを超えないこと。

双極性障害における躁症状の改善：通常、成人にはオランザピンとして10mgを1日1回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は20mgを超えないこと。

双極性障害におけるうつ症状の改善：通常、成人にはオランザピンとして5mgを1日1回経口投与により開始し、その後1日1回10mgに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、1日量は20mgを超えないこと。

抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）：他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日量は10mgを超えないこと。

*効能・効果、用法・用量に関する使用上の注意は添付文書をご参照ください。

本件およびエルメッド エーザイ製品に関するお問い合わせは、

弊社医薬情報担当者またはエーザイ hhc ホットラインへ

エーザイ hhc ホットライン

フリーダイヤル：0120-223-698

（受付時間：平日 9:00～18:00 / 土日・祝日 9:00～17:00）

<http://www.emec.co.jp>



エルメッド エーザイ株式会社

OLA(2)002

2018年4月作成